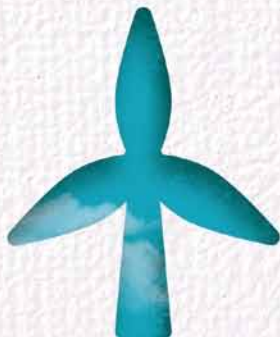


# CTC Report



**CTC**  
Challenging Tomorrow's Changes

第37期 中間報告書 2015年4月1日～2015年9月30日



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

証券コード：4739



代表取締役社長 菊地 哲

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループは、2015～2017年度の中期3ヵ年経営計画を新たに策定し、「リーディング・カンパニーとして、IT産業の進化を担う」を目指す姿とし、「2つの5,000(2017年度売上収益5,000億円、時価総額5,000億円超の早期実現)」の達成に向け、「サービス型」ビジネス、「総合力」経営、成長「投資」への「3つのシフト」を進めています。

## Q 2015年度上期の市況と業績をどのように評価されていますか？

A 金融分野でのシステム更新や公共分野でのマイナンバー制度の運用開始に向けたシステム対応に加え、製造業を中心に企業のIT投資は回復傾向にあります。事業環境が緩やかに改善する中で、当社グループは、携帯キャリア向け設備増強プロジェクトや運輸向け

サービス、精密機器メーカー向け共通基盤構築およびマレーシアやシンガポールなど海外における金融向け製品ビジネスなどに注力しました。この結果、サービス型ビジネス、製品ビジネスが増加し、売上収益は前年同期比で増収となりましたが、売上総利益率の低下と販売費及び一般管理費の増加により減益となりました。

## Q 新中期経営計画「2つの5,000」を達成するための「3つのシフト」の具体的な取り組みをご紹介します。

A 「サービス型」ビジネスへのシフトについては、近年、業務効率化を目的にBPO\*1サービスを利用する企業が増えていることから、伊藤忠商事(株)、(株)ベルシステム24ホールディングスと業務提携契約を締結し、3社による新規サービスの企画・開発、共同営業による既存顧客の深耕、新規顧客の開拓をスタートさせました(▶詳しくはP.6 CTC NEWS)。

企業のビジネス戦略を支援する、新サービスの開発にも力を入れています。その1つが、基幹系システムの安定稼働に特化した「CUVICmc2(キュービックエムシーツー)」の開発です。米国Virtustream(バーチャストリーム)社、SAPジャパン(株)との連携で、2016年4月より提供を開始する予定です(▶詳しくはP.3-4クラウド特集)。また、POSシステム、ECシステムと連動して、配車計画を自動作成できる当社のクラウドサービス「MAMS(Mobile Asset Management Service)」がニトリグループの物流を担う(株)ホームロジスティクスの宅配サービス基盤として採用(▶詳しくは裏表紙:導入事例)されたほか、アサヒビール(株)と共同で飲食店向けビッグデータ分析サービスの提供を開始しました。このサービスは、メニュー変更やプロモーション施策などが飲食店の売上や利益、来店や注文にもたらす

\*1. Business Process Outsourcingの略。  
自社の業務やビジネスプロセスを他社に委託すること。

影響を測定するもので、意思決定に必要となるビジネス改善の機会を特定する経営支援ツールとして活用いただけると考えています。また、従業員の健康管理業務を代行し、企業の業務負担を軽減するBPOサービス「おまかせ健康管理」の提供も開始しました(▶詳しくはP.5 CTC NEWS)。

一方、成長「投資」へのシフトでは、ITの普及や人口構造の変化に伴い、ライフスタイルやワークスタイルが大きく変わると見込まれる2020年以降を見据え、ITによる豊かな社会の実現を目指し、人工知能やネットワーク・ロボット、IoTなどをテーマとしたビジネス・イノベーションの創出に力を入れています。

その一環として、国産農作物の販路拡大に貢献するため、人工知能を活用して海外各国の輸入規制の遵守状況を自動判定するシステムの開発に取り組んだほか、オープンソース\*2のクラウド基盤ソフトウェア「OpenStack」のビジネス強化を目的に、米国Solinea(ソリネア)社に出資し、協業を開始しました。Solinea社へのエンジニアの派遣も視野に、「OpenStack」を含めたオープンソースソフトウェアの技術力を強化していきます。

\*2. ソースコードが誰でも無料で利用でき、変更・配布が可能であること。

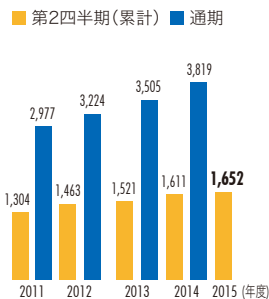
また、中期経営計画では3つのシフトを支える経営基盤の強化も重点施策の1つに掲げています。その一環として、専門性を高め、経験の幅を広げられる人材育成・ローテーションを重視した複線型の制度へ、人事制度を改定しました。新制度の定着を通じて、社員の働きがい向上と魅力ある会社づくりを実現していきます。

## Q 通期の見通しとあわせ、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 2015年度下期は、売上収益を増加させながら、エンジニアの稼働率向上をはじめとした原価低減により売上総利益率を改善することで、中期経営計画初年度の目標を達成したいと考えています。

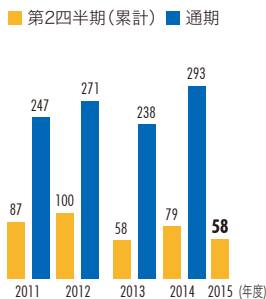
引き続き「リーディング・カンパニーとして、IT産業の進化を担う」姿の実現に向け、柔軟な資本政策の実施、全てのステークホルダーの皆様にとって魅力ある会社づくりを推進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上収益(億円)

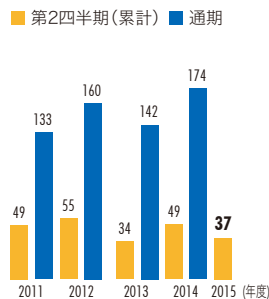


日本基準 — IFRS

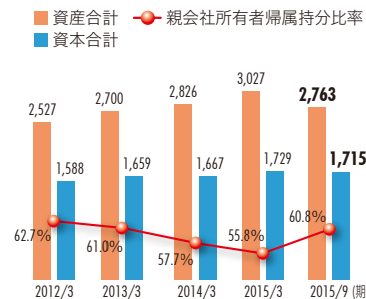
営業利益(億円)



親会社の所有者に帰属する  
当期利益(億円)



資産合計・資本合計(億円)  
親会社所有者帰属持分比率(%)



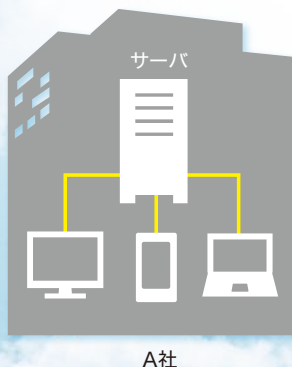
# ここがすごい! CTC! お客様企業の発展を支えるクラウド技術

CTCは、お客様のご要望に応じてパートナー企業の先進的な製品やサービスを組み合わせ、事業環境に最適なITシステムを提供しています。近年、ITシステムの効率的な活用方法として世界的に注目されているのが、クラウドです。今回は、クラウドの概要と、2016年4月から提供予定のCTCの新しいクラウドサービス「CUVICmc2(キュービックエムシーツー)」をご紹介します。



企業のITシステムは、パソコン・タブレットなどの端末をネットワークでつなぎ、それをサーバという大型のコンピュータで管理しています。これらのITシステムを自社の資産として保有して運用する形態を「オンプレミス」、サービス事業者が保有・運用するITシステムをインターネットを介して利用する形態を「クラウド」と呼びます。

## オンプレミス (自社内でシステムを保有)



コスト削減のために  
クラウドに移行  
システムの一部を  
クラウドに移行する  
企業が増加

## クラウド (インターネット上でシステムを共有)



情報システム担当者の悩み  
IT投資の多くを占める  
基幹系システム\*を  
クラウドに移行したい

利点	課題
高いセキュリティ 自社で開発した ソフトウェアとの相性が良い	メンテナンスに時間と 人手が必要 ↓ コストがかかる!

利点	課題
自社でIT資産を保有・管理する 必要がない ↓ コスト削減に貢献!	オンプレミスと比べて セキュリティに不安 ↓ 移行できるシステムが限られる

\*財務・会計、売上など、機密性が高く、事業の存続に不可欠なデータを管理するシステムのこと

## クラウド市場は、今後も高い成長が期待されています。

■国内クラウドサービス関連  
ITサービス市場規模

2014年  
3,831  
億円

3.1倍  
年平均成長率  
25.4%

2019年  
1兆1,879  
億円

出典：  
IDC Japan, 2015年7月「国内クラウドサービス関連ITサービス市場2014年の実績と2015年～2019年の予測」(J15340103)

## CTCの目指す姿

お客様企業のコスト削減と、  
事業の拡大・創出に貢献！

クラウドサービス売上収益目標

2014年度実績  
約110億円 → 2017年度  
300億円

## 基幹系システムのクラウドへの移行を「CUVICmc2」が解決！

CTC、Virtustream、SAP日本のノウハウを結集し、  
基幹系システム特化型のクラウドサービスを提供

CTC

自社のデータセンターから  
クラウドサービスを提供

Virtustream

基幹系クラウドの最先端の  
技術・ノウハウを提供

SAPジャパン

次世代エンタープライズ  
ソフトウェアを推進

CTC

総合力を兼ね備えた  
ソリューションプロバイダ

大企業をはじめとした多数のお客様に対し、データセンターやクラウドサービスを提供、システムの構築などで企業が抱えるITシステムの課題を解決しているCTC。長年培ったノウハウを活かし、自社のデータセンターから基幹系システム特化型のクラウドサービス「CUVICmc2」を提供します。

Virtustream

基幹系クラウドで多数の実績を誇る

世界の企業や政府機関に対して基幹系クラウドサービスを提供し、高い評価を得ている米国IT企業。Virtustream社が提供する基幹系クラウドの6割でSAP社製のソフトウェアが稼働していることから、基幹系クラウドのノウハウと、SAP社製のソフトウェアとの親和性の高さを活かし、「CUVICmc2」の普及を支えます。

SAPジャパン

エンタープライズソフトウェアで  
世界的に高いシェアを維持

エンタープライズソフトウェア(企業向けソフトウェア)の分野で高い実績を誇るSAPグループの日本法人。SAP社のサービスを既に利用している企業に対し、基幹系システムのクラウドへの移行を推進します。

ここが違う！

1. 性能保証 .....> ハードウェア応答時間、災害時サーバ復旧時間を保証
2. 高いセキュリティ .....> 政府・金融機関や業界団体が求めるセキュリティ基準・コンプライアンスへの対応
3. 適正コスト .....> システムの実使用量を測定して、使った分だけを課金する完全従量課金



## 健康管理を支援するBPOサービスの提供を開始

ウェルネス・コミュニケーションズ(株)と協業し、従業員数700名以下の企業を対象に、BPOサービス「おまかせ健康管理」の提供を開始しました。ストレスチェック、定期健診管理、過重労働対策の3つの業務を一元化し、Web問診や報告書作成支援などの業務を代行することで、人事・労務担当者の負荷を軽減します。



## 民間企業向けマイナンバー管理システムの提供を開始

2016年1月から始まる社会保障・税番号制度に合わせ、民間企業向けのマイナンバー管理システムの提供を開始しました。これは、企業が従業員から預かったマイナンバーを安全に保管するために必要な機能を網羅したソフトウェアパッケージです。あわせて、システム導入のコンサルティングから、導入後のマイナンバーの登録・管理・提供・廃棄の運用プロセスを体系化し、企業のマイナンバー対応をトータルに支援します。



## 「食材管理アプリ」と「家計簿アプリ」で家庭を支援

家庭にある食材を外出先で確認できる「食材管理アプリ」と、購入した商品の情報が自動的に反映される「家計簿アプリ」を開発し、提供を開始しました。利便性の高いアプリの提供を通して購買機会の増加を図り、小売業者のビジネス拡大に貢献します。2つのアプリは、コープネット事業連合が、組合員向け「ほべたんポータルアプリ」のコンテンツとして利用を開始しています。





## 伊藤忠商事、ベルシステム24HDとBPOビジネス分野で業務提携

伊藤忠商事(株)および(株)ベルシステム24ホールディングス(以下:ベルシステム24HD)とBPO分野での業務提携契約を締結しました。伊藤忠商事の持つ事業拡大におけるビジネスノウハウ、CTCの先進IT、ベルシステム24HDのグループ企業である(株)ベルシステム24のお客様業務の運用ノウハウを組み合わせ、お客様との接点となるコンタクトセンターを中心とした最先端のBPOサービスを提供します。



## 国連グローバル・コンパクトに参加

国連グローバル・コンパクト(以下:UNGC)に署名し、7月20日付で加入しました。UNGCは、企業・団体が社会の良き一員として行動し、地球規模で持続可能な成長を実現するための世界的な取り組みです。CTCは、UNGCの「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する10原則を実践し、「CTCグループ行動基準」のもと、社員一人ひとりが日々の業務を通じて社会的責任を果たせる体制を整えていきます。



## 子ども向けプログラミングワークショップを開催

今年度から、子どもたちを対象としたプログラミングワークショップ「未来実現IT教室～Children's Technology Challenge～」を実施しています。8月に開催した第1回には、プログラミングが未経験の小学4年生～6年生の子どもたちが参加し、タブレット端末を使ってオリジナル作品の制作に挑戦しました。CTCは、今後も同イベントを継続的に開催し、子どもたちの創造力と表現力の育成に貢献していきます。

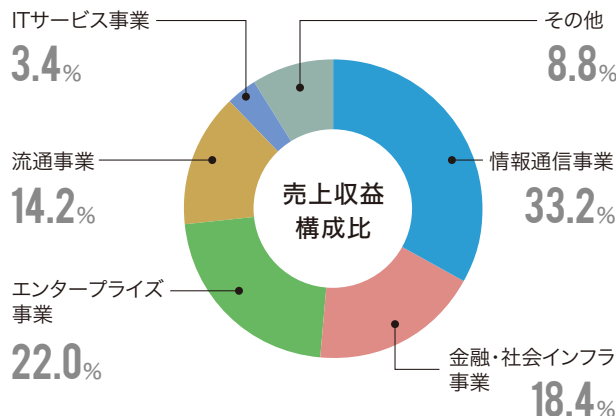


## セグメント情報

情報通信、エンタープライズなどが好調に推移し、売上収益は増収となりましたが、売上総利益率の低下などにより税引前利益は減益となりました。

なお、事業セグメント別の売上収益構成比は右グラフのとおりです。

また、当第2四半期の事業セグメント別の売上収益、税引前利益は以下のとおりです。



※ 各セグメントの外部売上収益の比率です。

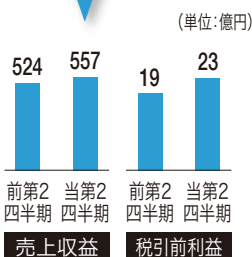
### 情報通信事業

携帯キャリア向けネットワーク案件の寄与などにより、前年同期比増収増益となりました。

売上収益 **557** 億円 前年同期比 **+6.3%**

#### 事業内容

通信キャリアやISP\*1、放送業界向けに大規模ネットワーク、大規模データベースなどミッションクリティカルで難易度の高いシステム構築を行っています。また、メールASP\*2などのサービスビジネスも積極的に推進しています。



\*1. ISP=インターネットサービスプロバイダ  
\*2. ASP=アプリケーションサービスプロバイダ

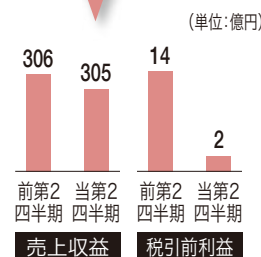
### 金融・社会インフラ事業

メガバンク向け開発案件が増加したものの、電力系通信会社向けネットワーク案件などの減少により、前年同期比減収減益となりました。

売上収益 **305** 億円 前年同期比 **△0.3%**

#### 事業内容

メガバンク向けの国内およびグローバル展開サポート、カード会社やその他金融向けのビジネスに加え、官公庁・自治体等の公共分野や、郵便・電力などの公益分野での大規模インフラビジネスを推進しています。





## エンタープライズ事業

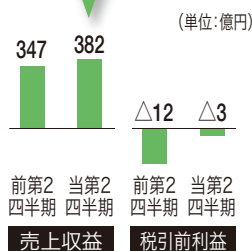


運輸向けサービス案件や製造向けインフラ案件が増加し、売上収益ならびに税引前利益ともに前年同期比増となりました。

売上収益 **382** 億円 前年同期比 **+10.1%**

### 事業内容

製造業・サービス業を中心としたお客様のITシステムに関する問題解決に向けて、インフラ構築、システム開発にとどまらず、コンサルティング、保守・運用サービスまで専門的で高付加価値のサービスを提供しています。



## 流通事業

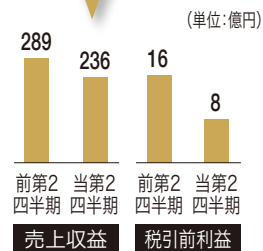


コンビニ向け店舗システム案件や食品卸向け開発案件などが減少したことにより、前年同期比減収減益となりました。

売上収益 **236** 億円 前年同期比 **△18.1%**

### 事業内容

総合商社、コンビニ、食品、小売業界のお客様を中心に、業務系システムの開発から、保守・運用までのトータルサービスを提供しています。



## ITサービス事業

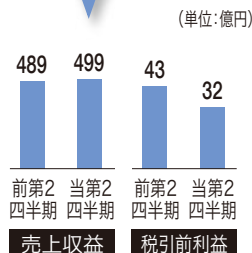


売上収益は増加したものの、売上総利益率の低下により、前年同期比増収減益となりました。

売上収益 **499** 億円 前年同期比 **+1.9%**

### 事業内容

データセンター、クラウドを中心としたアウトソーシングビジネスを展開するとともに、CTCグループの豊富な経験と最新技術を活かして、高品質な保守・運用各種サービスを全社横断的に提供しています。



## その他

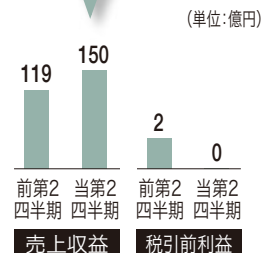


海外事業会社の金融向け製品ビジネスが増加したものの、売上総利益率の低下などにより、前年同期比増収減益となりました。

売上収益 **150** 億円 前年同期比 **+25.3%**

### 事業内容

科学システム事業部や、海外子会社であるITOCHU Techno-Solutions America, Inc.(米国)、CTC GLOBAL SDN. BHD.(マレーシア)、CTC GLOBAL PTE. LTD.(シンガポール)などが含まれます。



※ セグメント売上収益は、外部売上収益およびセグメント間の内部売上収益を合算して表示しています。

## 会社概要

会社名：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 (略称CTC)

英文社名：ITOCHU Techno-Solutions Corporation

本社所在地：〒100-6080

東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル

TEL 03-6203-5000(代)

URL <http://www.ctc-g.co.jp/>

創立：1972年4月1日

資本金：21,763百万円

社員数：3,951名(CTCグループ 8,057名)

事業内容：コンピュータ・ネットワークシステムの販売・保守、ソフトウェア受託開発、情報処理サービス、科学・工学系情報サービス、サポート、その他

## 取締役および監査役

代表取締役社長	菊地 哲
取締役	松島 泰*1
取締役	松澤 政章*2
取締役	高取 成光*3
取締役	須崎 隆寛*3
取締役	大久保 忠崇*3
取締役(非常勤)	中森 真紀子*4
取締役(非常勤)	小尾 敏夫*4
取締役(非常勤)	野田 俊介
常勤監査役	谷 隆博
常勤監査役	菖蒲田 徹
常勤監査役	石丸 慎太郎*5
監査役	多田 敏明*5

\*1. 副社長執行役員を兼務しております。 \*4. 社外取締役であります。

\*2. 専務執行役員を兼務しております。

\*5. 社外監査役であります。

\*3. 常務執行役員を兼務しております。

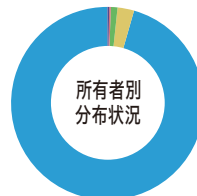
## 株式情報

発行可能株式総数……………246,000,000株

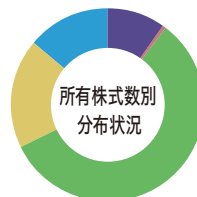
発行済株式総数……………120,000,000株

株主数……………14,328名

### ▶株式分布状況



金融機関	0.38%
証券会社	0.22%
その他の法人	1.26%
外国法人等	2.67%
個人・その他	95.47%



金融機関	9.80%
証券会社	0.51%
その他の法人	57.72%
外国法人等	18.20%
個人・その他	13.77%

### ▶大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	所有比率 (%)
伊藤忠商事株式会社	67,330,800	56.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,519,300	2.10
CTC社員持株会	2,256,736	1.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,898,900	1.58
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	979,140	0.82
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	885,360	0.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	857,500	0.71
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	810,500	0.68
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	805,604	0.67
みずほ情報総研株式会社	675,180	0.56

(注)上記のほか、当社が所有している自己株式4,385,750株があります。

## 株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日：定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

このほか必要があるときは、あらかじめ  
公告して基準日を定めます。

定時株主総会：6月に開催いたします。

株主名簿管理人：東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所：東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法：電子公告

公告掲載URL <http://www.ctc-g.co.jp/ir/>

ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることが  
できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数：100株

上場証券取引所：東京証券取引所 市場第一部

銘柄コード：4739 (略称 CTC)

## 株式に関するお手続きについて

- 郵送物に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ



### みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

0120-288-324(フリーダイヤル)

みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店)

みずほ証券株式会社(本店および全国各支店)

※支払期間経過後の配当金については、株式会社みずほ銀行でもお取り扱いいたします。

- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・買増請求等のお問い合わせ



口座を開設されている証券会社

※証券会社とお取引をされていない場合は、上記のみずほ信託銀行株式会社へお問い合わせください。

## IRサイトのご案内

最新のIR情報はホームページに掲載しております。

<http://www.ctc-g.co.jp/ir/>

CTC IR情報

検索

## ■認定NPO法人フローレンスへの寄付のお知らせ

CTCは、第36期定時株主総会から招集通知の一部を印刷せずにインターネット上で開示しており、これにより削減した印刷費用を、認定NPO法人フローレンスに寄付しました。フローレンスは、仕事と育児の両立を多角的に支援する団体で、ひとり親家庭に安価で病児保育を提供するひとり親家庭支援活動、日本初の障がい児専門の保育園、保育士と看護師が障がいのある子どもの自宅を訪問する障がい児訪問保育サービスなどを提供しています。CTCでは、今後も株主の皆様にご理解をいただきながら、社会に役立つ活動を行ってまいります。



## ニトリグループ ホームロジスティクス様



暮らしを支えるCTC!

# 「ヨロコビ、はこぶ」宅配サービスの実現に貢献!

## 家具の宅配サービス基盤をクラウドで構築

CTCは、ニトリグループの物流事業を担う(株)ホームロジスティクス様にPOSシステム、ECシステムなどと連動して最適な配送時間枠の提示と配車計画の自動作成を可能とするクラウドサービス「MAMS(Mobile Asset Management Service)」を宅配サービス基盤として提供しました。本サービスは、(株)ニトリ様のECサイトでも活用されています。

CTCのクラウド技術により、ホームロジスティクス様の従来の家具配送サービスにはなかったきめ細かな時間指定配送が実現しました。さらに、長年の家具配送で培ったサービス提供力と合わせて、ニトリ様以外の荷主向けサービスを始めています。いち早く協業の形をとることで、人材不足が叫ばれる物流業界全体の課題解決となるように取り組んでいます。



### Voice お客様の声

### (株)ホームロジスティクス様

代表取締役社長

まつうら まなぶ

松浦 学 様



昨今の日本の輸送力不足に対するひとつの答え“シェア”を実現するために、また勤や経験など個人に依存せず、検証・分析に基づいて改善されるシステムが当社の経営理念にリンクしたために、導入を決断しました。

ITサポート室 / 室長

ひがしの まさし

東野 将司 様



配送時間指定サービスを拡充し、お客様にとって便利な時間設定が可能となりました。今後は、他システムとの連携を強化し、リアルタイムという特性を活かした柔軟なサービスや物流網を構築する予定です。

ITサポート室 / 担当

なかね ようすけ

中根 洋介 様



革新的概念のため、全てが挑戦の連続でした。荷主様のニーズを満たしてコストを制御する、という最大の課題に対して辿り着いた答えが、ロジックに基づくリアルタイムな計画受注一実行管理という考え方です。

営業統括本部 / 浜松営業所 / 担当

たなか たつおき

田中 竜起 様



システム導入により、作業時間の大幅な短縮と作業の単純化が実現されました。入社間もない“地域特性”を知らない従業員でも、配車作業が短時間でできるようになりました。